

長尾半平 ながお はんぺい 政治家、禁酒運動家。慶應元年七月二十八日越後國
 生れ、昭和十一年六月二十日歿（八五—一九三六）。明治二十四年帝國大
 學工科大學土木科卒。臺灣總督府技師として渡臺、時の民政長官後藤
 新二の知遇を得た。その後鐵道院理事、東京市參與等を経、昭和五
 年衆議院議員當選。一方禁酒運動家として知られ、日本國民禁酒同
 盟理事長を務めた。

著書に、『禁酒叢話』（昭和三年二月十日日本評論社）、『鴻爪所感』
 （昭和七年二月十五日秋永社）等。石井滿著『長尾半平傳』（昭和十
 一年一月十八日教文館）がある。

